

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年11月12日

【四半期会計期間】 第96期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 株式会社大運

【英訳名】 DAIUN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋 健一

【本店の所在の場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 (06)6532局4101番

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野 弘一

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 (06)6532局4101番

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野 弘一

【縦覧に供する場所】 株式会社大運 神戸支店
(神戸市東灘区向洋町東三丁目)
株式会社大運 名古屋支店
(名古屋市中区丸の内一丁目4番12号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第2四半期 累計期間	第96期 第2四半期 累計期間	第95期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	3,301,588	3,219,840	6,653,995
経常利益又は経常損失 () (千円)	3,056	106,320	65,134
四半期(当期)純利益 (千円)	1,034	111,148	110,652
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,394,398	2,394,398	2,394,398
発行済株式総数 (千株)	62,280	62,280	62,280
純資産額 (千円)	2,043,109	2,169,178	2,192,474
総資産額 (千円)	5,907,826	5,697,090	5,856,931
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	0.02	1.79	35.26
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.6	38.1	37.4
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	42,212	24,168	238,204
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	110,493	43,001	132,498
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	25,595	131,004	99,708
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,903,223	1,883,744	1,995,915

回次	第95期 第2四半期 会計期間	第96期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期純損失金額 () (円)	0.37	0.68

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当社は子会社株式及び関連会社株式を有していないので、持分法を適用した場合の投資利益については、記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。
また、当社は関係会社を有しておらず、その異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行なわれておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）におけるわが国経済は、原油価格の低下の影響や政府の経済政策等により、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、中国をはじめとする海外経済動向など景気の先行き不透明感は払拭できない状況にあります。

当業界におきましては、規制緩和と荷主メーカーの大幅な物流コスト見直しが一段落し、取引採算の改善を検討しつつある状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、取引採算の確保、経費の削減に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）における当社の業績は、円安に苦しむ輸入関係取引を中心に営業収入は伸び悩みましたが、取引採算は回復してまいりました。主な要因として、比較的取引採算の良好な業者を中心に受注が増加したこと、原油価格の低下に伴う燃料コスト低下、経費削減効果等があります。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は3,219,840千円で、前年同四半期累計期間と比べ81,748千円（2.5%）の減収となりました。しかしながら、営業利益は64,534千円で、前年同四半期累計期間と比べ95,347千円（前年同四半期累計期間は30,812千円）の増益、経常利益は106,320千円で、前年同四半期累計期間と比べ109,377千円（前年同四半期累計期間は3,056千円）の増益となりました。また、四半期純利益は111,148千円となり、前年同四半期累計期間と比べ110,114千円（前年同四半期累計期間は1,034千円）の増益となりました。営業外収益89,847千円のうち36,627千円は保険解約返戻金、特別利益37,510千円のうち33,631千円は投資有価証券売却益であります。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安継続の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものであります。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、3,106,419千円で、前年同四半期累計期間と比べ、69,397円（2.2%）の減収となり、全セグメントの96.4%を占めております。

しかしながら、経費削減等の影響で、セグメント利益（営業利益）は、253,541千円で、前年同四半期累計期間と比べ、83,358千円（49.0%）の増益となりました。

自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、110,002千円で、前年同四半期累計期間と比べ、11,232千円（9.3%）の減収となり、全セグメントの3.4%を占めております。

セグメント損失（営業損失）は、16,173千円で、前年同四半期累計期間と比べ、13,768千円（前年同四半期累計期間は29,942千円）の増益となりました。

その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入が伸び悩みました。

この結果、営業収入は、3,418千円で、前年同四半期累計期間と比べ、1,118千円(24.7%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、3,367千円で、前年同四半期累計期間と比べ、1,092千円(24.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より46,055千円減少して3,439,991千円となりました。これは現金及び預金の減少182,170千円、立替金の増加127,277千円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より111,770千円減少して2,244,749千円となりました。これは投資有価証券の減少105,035千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より2,015千円減少して12,349千円となりました。これは社債発行費の減少2,015千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より521,330千円減少して1,552,567千円となりました。これは短期借入から長期借入(シンジケートローン)への切替等による短期借入金の減少625,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加128,790千円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より384,785千円増加して1,975,344千円となりました。これは短期借入から長期借入(シンジケートローン)への切替等による長期借入金の増加485,046千円、社債の減少78,400千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より23,296千円減少して2,169,178千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の減少134,313千円、繰越利益剰余金の増加111,148千円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フロー - の状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比112,171千円減少し、1,883,744千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、24,168千円(前年同四半期は42,212千円)でありました。これは、税引前四半期純利益計上133,632千円、減価償却費計上40,011千円、仕入債務の減少11,452千円、売上債権の増加517千円、その他負債の減少3,454千円、立替金の増加127,277千円等が主な要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、43,001千円(前年同四半期は110,493千円)でありました。これは、定期預金の払戻しによる収入170,000千円、定期預金の預入による支出100,000千円、有形固定資産の取得による支出20,982千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、131,004千円(前年同四半期は25,595千円)でありました。これは、長期借入れによる収入940,280千円、長期借入の返済による支出336,164千円、社債の償還による支出96,400千円、短期借入れの減少625,000千円、リース債務の支払による支出13,589千円等によるものです。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	62,280,394	62,280,394	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株 であります。
計	62,280,394	62,280,394	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年9月30日	-	62,280,394	-	2,394,398	-	314,304

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
大運協力会社持株会	大阪市西区西本町1丁目10-10	6,037	9.69
大運従業員持株会	大阪市西区西本町1丁目10-10	2,265	3.64
藤本弘和	大阪府吹田市	1,953	3.14
宝天大同	兵庫県神戸市北区山田町下谷上箕の谷3-1	1,246	2.00
田崎功	静岡県熱海市	971	1.56
加藤清行	愛媛県新居浜市	826	1.33
前田慶和	大阪府貝塚市	800	1.28
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	703	1.13
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4番地	672	1.08
大運役員持株会	大阪市西区西本町1丁目10-10	639	1.03
計		16,114	25.87

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 110,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 61,372,000	61,372	
単元未満株式	普通株式 798,394		
発行済株式総数	62,280,394		
総株主の議決権		61,372	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が12,000株(議決権12個)含まれております。
2 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社保有の自己株式453株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社大運	大阪市西区西本町 1-10-10	110,000		110,000	0.18
計		110,000		110,000	0.18

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、かがやき監査法人により四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社を有していないので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,300,115	2,117,944
受取手形	1,546	4,409
営業未収入金	738,691	730,046
立替金	409,800	537,077
その他	41,978	55,910
貸倒引当金	6,085	5,397
流動資産合計	3,486,046	3,439,991
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	170,534	162,719
構築物（純額）	3,412	3,242
機械及び装置（純額）	13,869	11,855
車両運搬具（純額）	36,464	43,879
工具、器具及び備品（純額）	9,885	10,148
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	22,229	16,879
有形固定資産合計	832,578	824,908
無形固定資産		
のれん	335,172	321,206
その他	74,662	62,795
無形固定資産合計	409,834	384,002
投資その他の資産		
投資有価証券	836,448	731,413
差入保証金	96,319	95,640
その他	436,815	483,931
貸倒引当金	255,477	275,147
投資その他の資産合計	1,114,106	1,035,838
固定資産合計	2,356,519	2,244,749
繰延資産		
社債発行費	14,364	12,349
繰延資産合計	14,364	12,349
資産合計	5,856,931	5,697,090

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	44,784	39,335
営業未払金	528,050	522,046
短期借入金	675,000	50,000
1年内償還予定の社債	174,800	156,800
1年内返済予定の長期借入金	471,018	599,808
未払金	59,069	61,572
未払法人税等	14,502	27,994
賞与引当金	35,360	35,733
その他	71,311	59,277
流動負債合計	2,073,897	1,552,567
固定負債		
社債	488,800	410,400
長期借入金	808,500	1,293,546
退職給付引当金	236,567	221,864
その他	56,692	49,534
固定負債合計	1,590,559	1,975,344
負債合計	3,664,457	3,527,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,446	433,446
資本剰余金合計	747,751	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	867,620	756,471
利益剰余金合計	861,764	750,615
自己株式	10,873	11,004
株主資本合計	2,269,512	2,380,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	77,038	211,352
評価・換算差額等合計	77,038	211,352
純資産合計	2,192,474	2,169,178
負債純資産合計	5,856,931	5,697,090

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収入	3,301,588	3,219,840
営業原価	3,156,811	2,965,097
営業総利益	144,777	254,742
販売費及び一般管理費	1 175,590	1 190,208
営業利益又は営業損失()	30,812	64,534
営業外収益		
受取利息	85	68
受取配当金	12,390	13,108
受取家賃	13,959	15,249
受取手数料	11,544	11,764
保険解約返戻金	-	36,627
雑収入	20,654	13,027
営業外収益合計	58,634	89,847
営業外費用		
支払利息	24,103	20,091
支払手数料	-	19,052
社債発行費償却	1,635	2,015
貸倒引当金繰入額	1,205	-
雑損失	3,932	6,900
営業外費用合計	30,877	48,061
経常利益又は経常損失()	3,056	106,320
特別利益		
固定資産売却益	2,259	3,878
投資有価証券売却益	5,014	33,631
特別利益合計	7,274	37,510
特別損失		
固定資産除却損	-	540
投資有価証券売却損	-	2,562
投資有価証券評価損	-	7,095
特別損失合計	-	10,198
税引前四半期純利益	4,218	133,632
法人税、住民税及び事業税	3,184	22,484
法人税等合計	3,184	22,484
四半期純利益	1,034	111,148

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,218	133,632
減価償却費	40,299	40,011
のれん償却額	13,965	13,965
貸倒引当金の増減額（は減少）	6,604	18,981
賞与引当金の増減額（は減少）	866	373
退職給付引当金の増減額（は減少）	43,340	14,703
受取利息及び受取配当金	12,476	13,177
支払利息	24,103	20,091
為替差損益（は益）	912	320
有形固定資産除却損	-	540
有形固定資産売却損益（は益）	2,259	3,878
投資有価証券売却損益（は益）	5,014	31,069
投資有価証券評価損益（は益）	-	7,095
売上債権の増減額（は増加）	5,351	517
仕入債務の増減額（は減少）	47,851	11,452
立替金の増減額（は増加）	117,516	127,277
その他の資産の増減額（は増加）	19,878	10,407
その他の負債の増減額（は減少）	59,174	3,454
その他	-	27,174
小計	74,508	8,099
利息及び配当金の受取額	12,476	13,177
利息の支払額	24,245	20,209
法人税等の支払額	20,527	9,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,212	24,168
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	86,600	100,000
定期預金の払戻による収入	226,500	170,000
有形固定資産の取得による支出	24,287	20,982
有形固定資産の売却による収入	2,260	4,680
投資有価証券の取得による支出	23,013	140,210
投資有価証券の売却による収入	20,054	134,906
その他の支出	4,787	5,391
その他の収入	367	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,493	43,001

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（は減少）	45,200	625,000
長期借入れによる収入	616,400	940,280
長期借入金の返済による支出	653,882	336,164
社債の発行による収入	195,982	-
社債の償還による支出	73,800	96,400
自己株式の取得による支出	131	131
リース債務の返済による支出	13,773	13,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,595	131,004
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	178,302	112,170
現金及び現金同等物の期首残高	1,724,921	1,995,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,903,223	1 1,883,744

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日至 平成27年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
役員報酬	27,840千円	29,540千円
従業員給料(賞与除く)	41,785千円	32,037千円
退職給付費用	4,966千円	680千円
減価償却費	12,158千円	11,952千円
のれん償却額	13,965千円	13,965千円
賞与引当金繰入	852千円	5,997千円
貸倒引当金繰入	7,809千円	18,982千円
雑費	27,195千円	26,141千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	2,207,423千円	2,117,944千円
担保差入定期預金	304,200千円	234,200千円
現金及び現金同等物	1,903,223千円	1,883,744千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,175,816	121,235	3,297,051	4,537	3,301,588		3,301,588
セグメント間の内部売上 高又は振替高	812,177	213,415	1,025,593		1,025,593	1,025,593	
計	3,987,993	334,651	4,322,644	4,537	4,327,182	1,025,593	3,301,588
セグメント利益又は 損失()	170,182	29,942	140,240	4,460	144,701	175,513	30,812

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額の内容は、175,513千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益又は損失()と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,106,419	110,002	3,216,420	3,418	3,219,840		3,219,840
セグメント間の内部売上 高又は振替高	886,652	223,847	1,110,499		1,110,499	1,110,499	
計	3,993,071	333,849	4,326,920	3,418	4,330,339	1,110,499	3,219,840
セグメント利益又は 損失()	253,541	16,173	237,368	3,367	240,735	176,201	64,534

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額の内容は、176,201千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円02銭	1円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,034	111,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,034	111,148
普通株式の期中平均株式数(千株)	62,177	62,171

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月12日

株式会社 大運
取締役会 御中

かがやき監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 原 康 則 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 奥 村 隆 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大運の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第96期事業年度の第2四半期会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大運の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。